

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	浜松医療センター新病院	階数	地上7F
建設地	静岡県浜松市中区佐鳴台5丁目107	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、防火	平均居住人員	1,500 人
地域区分		年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院,工場,	評価の段階	
竣工年	2023年9月 0.0	評価の実施日	2020年7月15日
敷地面積	23,748 m ²	作成者	久米設計 矢部
建築面積	9,677 m ²	確認日	2020年7月15日
延床面積	39,351 m ²	確認者	久米設計 小林



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
高度急性期機能を発揮する4つのコンセプト ①救急関連部門の集約、②看守りやすい病棟、③スタッフの連携強化、④周辺住宅地への圧迫感を軽減する建物ボリューム	0	
Q1 室内環境 ・屋根・外壁に適切な断熱を施し、低放射複層ガラスを採用している ・昼光率を大きく設計、合わせて光庭を設置して昼光を利用している	Q2 サービス性能 ・共用部の空間にゆとりと自由さを与えている ・免震構造を採用している ・重要機器の耐震グレードをクラスSIに設定している ・空調熱源を電気・ガスに分散化している	Q3 室外環境(敷地内) ・中高木の植栽、ピロティの設置により日陰を形成している ・緑地を確保して地表面温度や地表面近傍の気温の上昇を抑制している
LR1 エネルギー ・屋根・外壁に適切な断熱を施し、LOW-Eガラスを採用、熱負荷を抑えている ・太陽熱を利用して給湯の予熱を行っている ・高効率チラー、ポンプの流量制御、高効率電動機、LED照明を採用している	LR2 資源・マテリアル ・節水便器、自動水栓を採用している ・上水、雑排水へ井戸を利用している ・路盤材料にリサイクル材を使用している ・不活性ガス消火剤(窒素)を使用している	LR3 敷地外環境 ・屋上緑化により敷地外への熱的影響を低減している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	浜松医療センター新病院	BEE	1.3	BEEランク	B+	★★★

2. 重点項目への取組み度				
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.3 / 5		ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	4.5 / 5		よい	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	4.0 / 5		よい	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	3.0 / 5		ふつつ	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	
			ふつつ 3 点以上	
			がんばろう 3 点未満	

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。			
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)		得点	3.3
<p>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数)</p> <p>①屋根・外壁に適切な断熱を施し、低放射複層ガラスを採用している</p> <p>②昼光率を大きく設計、合わせて光庭を設置して昼光を利用している</p> <p>③カーテン・底の設置、西向き病室にはアルミルーバー(フィン)を設置している</p> <p>④ダクト・配管材料に長寿命化を図っている</p>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ①	外皮性能	
	Q-1 3 3.1 3.1.3 ②	昼光利用設備	
	Q-2 2 2.2 2.2.1 ④	昼光制御	
	Q-2 2 2.2 2.2.2 ④	躯体材料の耐用年数	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑥中高木の植栽、ピロティの設置により日陰を形成している</p> <p>緑地を確保して地表面温度や地表面近傍の気温の上昇を抑制している</p> <p>空調設備の排熱や燃焼設備の高温排熱を屋上で放出している</p>	Q-3 1 ⑤	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	3 3.2 ⑥	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
<p>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用)</p> <p>⑦屋根・外壁に適切な断熱を施し、LOW-Eガラスを採用、熱負荷を抑えている</p> <p>⑧太陽熱を利用して給湯の予熱を行っている</p> <p>⑨高効率チラー、ポンプの変流量制御、高効率電動機、LED照明を採用している</p> <p>⑩中央監視にエネルギー分析機能を採用、省エネ管理を支援している</p>	LR-1 1 ⑦	2.2.3 ④	空調換気ダクトの更新必要間隔
	2 2.2 ④	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3 2.2 ④	主要設備機器の更新必要間隔	
	2 2.2 ④	生物環境の保全と創出	
	LR-1 1 ⑧	敷地内温熱環境の向上	
	2 ⑨	建物外皮の熱負荷抑制	
	3 ⑩	自然エネルギー利用	
	4 4.1 ⑩	設備システムの高効率化	
	4.2 ⑩	モニタリング	
	4.2 ⑩	運用管理体制	
<p>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)</p> <p>⑪節水便器、自動水栓を採用している</p> <p>上水、雑排水へ井戸を利用している</p> <p>⑫路盤材料にリサイクル材を使用している</p> <p>⑬不活性ガス消火剤(窒素)を使用している</p>	LR-2 1 1.1 ⑪	2.1.3 ⑫	躯体材料におけるリサイクル材の使用
	1.2 1.2.1 ⑪	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	
	2 2.1 2.1.1 ⑫	持続可能な森林から産出された木材	
	2.1.2 ⑫	部材の再利用可能性向上への取組み	
	2.1.3 ⑫	有害物質を含まない材料の使用	
	2.1.4 ⑫	消火剤	
	2.1.5 ⑫	断熱材	
	2.1.6 ⑫	冷媒	
	3 3.1 ⑬	地球温暖化への配慮	
	3.2 3.2.1 ⑬	温熱環境悪化の改善	
3.2.2 ⑬			
3.2.3 ⑬			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)		得点	4.5
<p>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)</p> <p>⑯免震構造を採用している</p> <p>⑰重要機器の耐震グレードをクラスSに設定している</p> <p>空調熱源を電気・ガスに分散化している</p> <p>上水・雑排水系統に井水を利用、緊急排水槽を設置している</p> <p>非常用発電機、UPS装置を設置し、電気室は屋上に設置している</p>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯	耐震性	
	2.1.2 ⑯	免震・制振性能	
	2.4 2.4.1 ⑰	空調・換気設備	
	2.4.2 ⑰	給排水・衛生設備	
	2.4.3 ⑰	電気設備	
	2.4.4 ⑰	機械・配管支持方法	
	2.4.5 ⑰	通信・情報設備	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)		得点	4.0
<p>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)</p> <p>⑲共用部の空間にゆとりと自由さを与えている</p>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱	ユニバーサルデザイン計画	
	3 3.1 3.1.1 ⑲	階高のゆとり	
	3.1.2 ⑲	空間の形状・自由さ	
<p>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮)</p> <p>㉑外構照明を設置して防犯性に配慮している</p>	Q-3 3 3.1 ㉑	地域性への配慮、快適性の向上	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		得点	3.0
<p>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上)</p> <p>⑥中高木の植栽、ピロティの設置により日陰を形成している</p> <p>緑地を確保して地表面温度や地表面近傍の気温の上昇を抑制している</p> <p>空調設備の排熱や燃焼設備の高温排熱を屋上で放出している</p>	Q-3 1 ⑤	生物環境の保全と創出	
	2 ⑥	まちなみ景観への配慮	
	3 3.2 ⑥	敷地内温熱環境の向上	
<p>■敷地外環境対策 (⑬温熱環境悪化の改善)</p> <p>⑬屋上緑化により敷地外への熱的影響を低減している</p>	LR-3 2 2.2 ⑬	温熱環境悪化の改善	